



就職試験に向けて ③面接の基本

9月16日から、いよいよ就職試験が始まります。

就職試験には、面接試験と筆記試験があります。特に重要なのが『面接試験』です。面接で自分の思うことが言えた人は、ほとんど合格しています。裏を返せば、不合格の人はほとんど面接で失敗しています。失敗の原因は、『自分の想いや考えを自分の言葉で話せなかった』からです。

例を挙げると、「学生時代の部活動は何をしていましたか」と聞かれると部活動名を答えるでしょう。「好きな教科は何ですか」と聞かれると好きな教科を答えるでしょう。ほとんどの人が“答えがある質問”には答えることができます。しかし、「あなたの将来の夢は何ですか」「当社はどのような会社だと思いますか」など、“答えがないものを問う質問”もあります。それぞれ自分の考えや想いを伝えれば良いのですが、“私には夢はありません”や“わかりません”などの答えは面接官に良い印象を与えません。「自分の考えを持っていない」「自分で答えられない」と判断されます。

面接はだれも最初から上手にできるものではありません。面接の基本をおさえて、何度も繰り返し練習することによって上手になれる。

ここで皆さんに面接の基本のふたつを紹介します。この基本をおさえて何度も繰り返し練習して、希望の会社に合格しましょう。

1. 自分を知ろう

① 企業が知りたいこと

企業が知りたいのは、「その学生はどんな人間か」と「本当に当社に入社したいのか、入社して役立ってくれるのか」です。いわゆる「自己PR」と「志望の動機」ですが、企業はそれらを明確にするために、いろいろと角度を変えて質問してきます。次に、「自己PR」と「あなた自身のこと」について考えてみます。

② 自己PR

この質問によって、企業が学生のどのようなところを見ようとしているかというと、「どんな人間なのか」「自分のことを正しく把握しているか」「内向的か外向的か」「自分自身をきちんと表現できるか」「どんな職業に向いているか」など幅が広いといえます。

対策として、長所を徹底的に紙に書き出してください。「明るい」「〇〇のスポーツをやっていた」「積極的」「プラス思考」「行動力がある」「リーダーシップがある」など箇条書きにしてみてください。そして、その長所を裏付けるエピソードとともにまとめて下さい。

③ 面接で聞かれる「あなた自身のこと」

【質問1】 あなたは一言でいうとどんな人ですか？

〈質問の意図〉どんな人間なのか、自分のことを正しく理解しているか、一言で答えられるか、などを見ます。

【考え方】自分の長所をよく考え、しかも「ズバリ」と簡潔に答えてください。具体的な説明も含め、きちんと答えられるよう準備して下さい。

【質問2】 あなたの長所と短所を教えてください？

〈質問の意図〉正しく自己分析ができているか、どんな性格か、などを見ます。

【考え方】長所を述べるのは比較的簡単ですが、短所を述べるのは難しいかと思います。「短所の裏返しは長所」と思わせる答え方をして下さい。例えば、「私の短所は、物事をやり始めると、やや熱中しすぎる点です」と答えたら、「熱中しすぎる」というのはよく考えてみると長所でもあります。「正義感が強すぎる面があるので、もう少し丸い人間になりたいと思います」と答えたら、若者は正義感があるべきで、年齢とともに角が取れて丸くなるものと考えられます。

【質問3】 今までの人生で一番つらかったことは何ですか？

〈質問の意図〉苦勞の程度、どの程度の苦勞に耐えられるか、根性はあるか、苦勞をバネに伸びたのかつぶれたのか、などを見ます。

【考え方】自分の人生で一番つらかった経験をありのままに話して下さい。そして、どのようにして立ち直ったかを話して下さい。話す内容は何でも構いません。「自分が本当に感じたことを率直に話す」ということを心掛けることが、若者らしい好印象を与えることにつながると思います。

2. **会社を知ろう**

① 会社を調べる

「求人票」「会社パンフレット」「受験報告書」「インターネット」で受験する会社を徹底的に調べて下さい。求人票で「事業内容」「会社の特徴」「仕事の内容」「社長の名前」を、他に「会社の売り上げ」「会社の設立時期」「会社の社訓（社是）」「会社のモットー」「会社が一番力を入れていること」「業界のシェア」「社員数」などを調べて覚えて下さい。さらに、一番大事なことは、「直接会社を訪問すること」です。ジョブ・スタ長工や応募前見学会に積極的に参加して、「会社の立地」「会社の雰囲気」「活気や明るさ」「働く社員さんの様子」「働く社員さんのあいさつの仕方」などが、肌で感じる事が出来ます。

② 志望動機を考える

自分自身のことは「1. 自分を知ろう」で述べました。ここでは、なぜ自分はその会社に入りたいかを考えてみます。

「会社」の情報と「自分」の情報をいかにうまくミックスして話を組み立て相手に伝えるかが大切です。会社と自分の接点を見つけ出し、いかに自分がこの会社に入りたいか、そして自分のやる気、能力、適性を持っていることをアピールして下さい。

③ 面接で聞かれる「**志望動機のこと**」

【質問1】 なぜ当社に応募したのですか？

〈質問の意図〉当社にかける情熱や真剣さはどうか、を見ます。

【考え方】「御社は将来性があると思い応募しました」と答えると、必ず「どんな所に将来性を感じましたかと、再度質問されます」。どこに将来性を感じたかを答えることができるように考えて下さい。

【質問2】 入社したらどんな仕事がしたいですか？

〈質問の意図〉適正・適職は何か、本当にその仕事に向いているか、などを見ます。

【考え方】求人票に職種が記載されていた場合、その職種を希望しますと答えるかと思います。しかし、その場合でも「なぜその職種が希望なのか」まで、答えて下さい。

